

ようぼくの心と心をつなぐ

News Letter

「大きな怪^け我^がもなく、チーム一手一つに、全力で戦わせて頂けることに心から感謝しています」。天理高校野球部のマネージャーを務める蓮池理栄さん（表野分教会長の長女）は、いま「第99回全国高校野球選手権大会」の真っ最中。甲子園での試合、次戦に向けた練習、宿舍での合宿と、どんなに忙しくて、毎日、親神様・教祖への御礼を忘れない。

理栄さんが野球部のマネージャーとして入部したのは、天理高校野球部出身の地元中学校の先生に勧められたから。「人の役に立つことがなかった」という理栄さんは、野球部の見学に行った際に見た、真剣に練習に取り組む同級生の姿に「甲子園を目指して頑張る選手を、一番近くでサポート



両親から学んだ信仰心

蓮池理栄さん（表野分教会・別席運び中）

トし、応援したいと思った」という。そんな彼女が3年生になったばかりの春、こんな出来事があった。野球部では、部員全員がそろって本部神殿で参拝をする「部参拝」をしている。しかし、今年の4月、「心もこもらず、適当な参拝をするくらいならやめた方がいい」と、「部参拝」が無くなった。そんな時、理栄さんは、もう一人の3年生マネージャーと二人で、「おつとめを勤め、教祖殿、祖霊殿を巡拝して、日頃の感謝と甲子園出場に向けたお願いをしよう」と、日参し続けた。

すると、そんな理栄さんたちの姿を見た野球部のキャプテンが、「俺も一緒に」と参拝するように。そうするうちに、一人、また一人と仲間が増え、2カ月後の6月には「部参拝」が復活したのだ。理栄さんは当手を振り返り、「親神様・教祖のもとへ足を運び、おつとめを勤め、心をつなぐことの大切さを両親から学んできたおかげだと思う」と話す。

優勝した平成2年以来、27年ぶりのベスト4進出を決めた天理高校野球部。理栄さんは、この快進撃をマネージャーとして支えている。そして、弟の光理さんは天理高校吹奏楽部員として、アルプス席から声援を送る。

「野球部に入部し、天理高校野球部がどれだけたくさんの方に愛され、支えられているかを知った」と話す理栄さん。「監督、選手、そして応援してくださる皆さんと共に、一手一つに全力を尽くし、優勝を目指したい」と意気込む。

(8月21日記)

「にをいがけ強調の月」

を盛り上げよう

※一覽表に教会名の無いところも各教会で実施されますので、お問い合わせください。

各地で、いつも以上に活発な布教活動が展開される9月。いよいよ全教挙げての「にをいがけ強調の月」が始まります。大教会における、布教活動の大きな柱となっている「岡心勇隊」一年を通じて、各地で活発な実動が展開されています。

一方で、活動している地区が限定され、実動できていない地区が少なくないのも現実。そこで、吉田政彦布教部長は「この『岡心勇隊』を活用し、お道につながるお互いが一手一つににをいがけ実動を推し進め、布教活動の充実と活性化を進めたい」と呼び掛け、『岡心勇隊』全教会の実動」を目標に設定。布教部が中心となり、岡につながる教友が一手一つに、9月の「にをいがけ強調の月」に向かいます。

今回、実動地区として設定されたのは全25拠点。実施日や実動時間は、下記の一覽表を参照してください。実施日などが空白の会場は、現在調整中となっているため、会場担当者、もしくは各会場の教会へお問い合わせください。

おちばより頂く「にをいがけ実動の徹底」との親の思いに込められるよう、「にをいがけ強調の月」を盛り上げていきます。

「岡心勇隊」開催会場・担当者一覽表

.....平成 29 年 8 月 23 日現在

地区	主会場	実施担当者	実施日	実施時間	教会名
明日香	大教会	森井道典	1	10:00~	大教会、飛鳥川、新上、岡谷、南洲、高田
御所	忍海	岡橋岩男	18	10:00~	忍海、敷津
奈良	西大阪	丸田イウ子	20	15:30~	西大阪
五条和歌山	彩の台	芝田真一	9	10:00~	表野、表田、相嘉、大和二見、南阿太
大阪	岡垣	津田 進	18	10:00~	枚方、岡道、岡萩、岡垣、岡村、道弘、道明弘 東松浦大阪、東明実、筑攝、眞澄、眞世
門司	福門	村田継明	1	13:00~	福門、松ヶ江、福見山
八幡	住之都	江里道孝	13	10:00~	住之都、筑八、貞元
福岡中央	西北	森川誠子	30	13:00~	西北、鶴城、鳥飼、大博、千成
福岡姪浜	姪浜駅前	秋山大成	30	調整中	西新、呉服町、薬院
太宰府筑紫	警固	田原太郎	調整中		警固、今光、紫王路
福岡粕屋	東志免	高場純貴	11	調整中	東志免、東水町
福岡新宮	大空	山平ミヨ子	11	調整中	大空
福岡飯塚	須光	光武松市	1	10:00~	嘉殿、須光
佐賀市内	東松浦	吉田百合子	4	11:30~	東松浦、北佐賀、明祐、都渡城、筑後川、肥里、肥陽
武雄	上橋	藤本健二	14	11:00~	杵島、上橋、天神免
唐津	肥東	中島道弘	3	11:00~	肥東、松浦郷
伊万里	香蘭	森川清和	13	10:00~	伊万里、西壽、香蘭
多久	肥城	永田良人	13	11:00~	肥城、肥前三日月、肥道、勇虎
杵島・小城	芦刈	山内光男	30	10:00~	牛津、芦刈、芦住、白石町、江北野、東鹿島、西肥、北有明
佐世保	早岐	森川まさみ	5	10:30~	肥保、西乃島、早岐
埼玉	岡瀧	常道久雄	14	調整中	岡瀧、瀧登
茨城	界澄	北島美佐子	1	祭典後	界澄
函館	岡館	岡崎伊都子			岡館
平戸	北松浦	出口和史			北松浦
杵岐	武生水	塚元孝雄			武生水

青年会「決起総会」まで1カ月

心定めの「200人動員」に向けてラストスパート

100
立教180年(2017年)
9月24日(日)
青年会長様ご臨席

決起総会
青年会岡分会
SEIENKAI OKABUNKAI
KENKISOUKAI

集合 8時 開会 10時
参加御供 / 1,000円
服装 / 青年会員はスラックス、ネクタイ、自教会はっぴ

来年、創立100周年を迎える天理教青年会。100年という大きな節目を迎えるにあたり、「感謝と挑戦」を基本方針に、「親孝行、夫婦仲良く、陽気ぐらし」を掲げて活動を展開しています。青年会創立100周年に向けた

来年、創立100周年を迎える天理教青年会。100年という大きな節目を迎えるにあたり、「感謝と挑戦」を基本方針に、「親孝行、夫婦仲良く、陽気ぐらし」を掲げて活動を展開しています。青年会創立100周年に向けた

今年、「決起総会」を、青年会創立100周年の

節目を迎えるためだけのものにはしたくありません。次代を担う若人が一手二手に立ち上がり、この道を一層進展させるための決起となるようにしたいと思います。

当日、その勇んだ姿を青年会長様に、そして、岡につながる皆さまにご覧いただきましょう。

中山大亮青年会長様をお迎えして開催される「青年会創立百周年決起 岡分会総会」まで、残り1カ月となりました。心定めは「青年会員200人の動員」。併せて、対象会員の配偶者やその子供さん方にも参加してもらえるように、声かけを行っています。

「決起総会」ですが、「親孝行、夫婦仲良く、陽気ぐらし」の歩みを力強く進めさせて頂くためにも、青年会員だけに限らず、その配偶者の方々へも声掛けをさせていただいています。

教祖130年祭の神殿講話で真柱様より、「あらためて足元を見つめ直し、長い目で道の将来を

今年も大盛況の「ふれあい広場」 最大で一日に約500人が利用

「笑顔ひろがれ たすけあい」のテーマのもと、賑やかに開催された「立教180年こどもおちばがえり」。おちばの夏を満喫する子供たちの歓声が各会場で響くなか、岡詰所を会場に開催された「ふれあい広場」も大盛況。連日、午後4時

30分から8時まで実施され、多い日で、一日に500人を超える人が利用。毎日、特別ひのきしん

者や、ヤングひのきしんの学生など、約100人の手によって、模擬店やゲームコーナーなどを運営した。

岡大教会KOG運営局は、詰所と連携して帰参団体の宿泊を世話取り。団体が到着した際には「玄関あいさつ」を実施し、巨大紙芝居を利用して「おちば」について説明した。また、「おちばに帰ってくれた子供たちに少しでも教祖を身近に感じてもらい、仕込みの一助となれば」との思いから、各部屋に『稿本天理教教祖伝

みんな大好き！
「こどもおちばがえり」

逸話篇』のお話を掲示。「こどもおちばがえり」のテーマや、三つの約束と合わせて、子供たちへの縦の伝道の工夫がなされていた。

日中は、午前8時30分に朝礼を行い、詰所館内で清掃ひのきしんを実施。その日に宿泊予定の団体が気持ちよく詰所を利用できるように、各部屋やトイレの清掃はもちろん、廊下や階段、洗面台など隅々まできれいにする。また、熱中症対策として、各会の洗面所に茶タンクを設置。お茶は、毎日 入れ替えられていた。

午後2時になると、「ふれあい広場」の全体ミーティングが実施される。ミーティングでは「単なるひのきしんの場ではなく、お互いに信仰を振り返る場所にもたい」との思いから、「この教え、信仰を一言でいうと」をテーマに「役員教話」を実施。その後、模擬店ブースごとの食材の仕込みが始まると、4時30分のオープンに向けて、細かな準備が進められる。

「ふれあい広場」会場台の拍子木が鳴り響くと、会場は一気に利用者でいっぱいになる。模擬店のメニューに舌鼓を打つ人で賑わい、ゲームコーナーやジャンボ滑り台を楽しむ子供たちの歓声が響き渡った。



▲▼巨大紙芝居を用いた「玄関挨拶」の様子(上)。今年もマイクロバスが大活躍(下)。5台の走行距離、約3,000km。





◀▼今年も大盛況の「ふれあい広場」。特に、ゲームコーナーやジャンボ滑り台は子供たちに大人気。期間中、たくさんの人で賑わい、歓声が響き渡っていた。



鼓笛隊「アルバトロス」 悔し涙の「銀賞」 「こどもおぢばがえり」もう一つの物語



子供たちの笑顔あふれる「こどもおぢばがえり」。「おぢばの夏」を楽しみに、各地からおぢばへ帰ってくる団参の一方で、もう一つの物語が繰り返られている。それは、鼓笛隊のおぢば帰り。一年間の練習の成果を親神様・教祖に「お供え演奏」し、「鼓笛オンパレード」で審査を受けるのだ。

「アルバトロス鼓笛隊——シルバー、銀賞。」「オンパレード」の審査結果が発表されたその瞬間、思わず目に涙があふれる。しばらくの沈黙が続き、誰もが肩を落としていた。

一生懸命に練習に取り組んできた一年間を「お供え」する喜びと、その集大成への審査結果が、子供たちの成長へとつながる鼓笛隊。それは、鼓笛隊活動としてだけでなく、少年会員の誓いにもある「立派なようぼく」に育つための肥やしともなっている。

今年が残念ながら「銀賞」一步及ばず「銀賞」となり、悔し涙を流した鼓笛隊。来年に向けて心機一転、9月より練習がスタートする。一回り大きく成長した姿を「お供え」するために、そして感激の涙を流す夏のために。

仲間と出会う絆と信仰深める「熱い夏」

子供たちでにぎわう「こどもおちばがえり」が終わっても、「おちばの夏」は終わらない。仲間と交流を深め、教理を学び、自らの信仰を見つめ直す「学生生徒修養会（高校の部）」が8月9日から15日の1週間開催され、次代を担う高校生がおちばで「熱い夏」を過ごした。

今回、岡大教会から18人（そのうち初参加者は6人）が参加。初日の受付で見せた不安げな表情が嘘のように、最終日には仲間との別れを惜しみ、再会を誓い合った。高校生たちを魅了して止まない「学修」。

参加者に感想を聞いてみた。

絶対に行きたくなかった！

けど……

森井 大一（眞 世） 3年生

今年の「学修」に参加する気持ちは無く、そもそも「絶対に行きたくない」という思いを強く持っていました。しかし、両親や身近な人に声をかけてもらい、半ばしぶしぶ参加したのです。

あたりまえですが、「学修」に参加する人には、一人ひとりにさまざまな人生があります。親のことで悩んだり、自分自身のことでも心を倒したりと、経験したことのない話をたくさん聞きました。そして、「当り前のように生活している今に感謝しなければ」と思ったのです。

最終日、「『学修』に参加してよかった」と思う自分がいました。高校生活最後の「学修」は、とても良い思い出になりました。

「学修」だからこそその時間

出口 奈々（飛鳥川） 3年生

3回目の参加となった今回、私は班長をさせていただきました。今年から大きく体制が変わり、同じ班に「『学修』の楽しさ」を知っている人、知らない人が入り混じっていました。なので、「どうすれば『学修』の楽しさをしてもらえるのか」を考えることが難しかったです。今回の「学修」で一番心に残ったのは、「休み時間」です。「休み時間」はプログラム外の時間。なので、班のみんなと遊んだり、本音で思っていることを話し合えたりしました。ちばにお引き寄せいただいた仲間と、「学修」だからこそその時間だったと思います。

私は、どちらかと言えば、自分中心に考えがちな性格です。なので、班長を務めさせていだいたおかげで、周囲へ目を配り、気を配り、たすけ合うことを学びました。次は、「高校生卒業コース」に参加したいです。



考え方が変わった

川東 亮太(東明実) 1年生

初めて「学修」に参加しましたが、メリハリのある生活と、相手のことを思っただけでなく、仲良く過ごす方法をあらためて知りました。

僕は天理教について詳しく知りませんでした。が、教理をたくさん学び、おつとめに対する考え方が変わりました。これからは、日々のご守護に感謝し、心を込めて朝夕のおつとめを勤めたいと思います。

とにかく、自分自身が成長できる1週間だったように思います。班のカウンセラーさんはずごく身近な距離で接してくれたこともあって、帰りたくなる「学修」でした。

魅力いっぱいの一週間

金武 真由(香 蘭) 2年生

今年の「学修」は、最後の最後まで班の仲間全員と過ごすことができ、離れるのが寂しく感じるくらいに充実した1週間でした。いま、とても幸せな気分です。

初日は、皆と仲良くできるか不安でした。で

も、史跡巡りやゲームをしたり、たくさん話すことで、お互いの距離が縮まります。特に寮でのプログラムでは、班の仲間と協力して過ごすことが多く、その分お互いを知ることができま

す。そんな生活を送るうちに、私は人を優先して行動することの大切さを学びました。もともと、自分中心に考えてしまう私は、周りを見ることが苦手でした。でも、いまは違います。さまざまな場面で周りを見て行動し、人に譲る心を持つことができるようになりました。

また来年も参加したい！そう思える「学修」の魅力は、出会った仲間との再会を強く願う気持ちになれること、そして「学修」全体の楽しさです。

新たな出会いに感謝

松本 孝輔(眞 澄) 3年生

今回の「学修」は、参加回数で分けられる「回生別」ではなく、「学年別」での班分けとなりました。今までと様子が違う分不安もありましたが、不安を上回るくらいに楽しみにもしていました。

受付を済ませ、一人、また一人と集まりだすと、想像以上によそよそしい雰囲気。それぞれ

の参加回数がばらばらなので、お互いに遠慮していたのか、少し息苦しかったです。それでも、そんな空気はひと時のこと。すぐに仲良くなれました。

3年生は、班員で過ごす時間が多く、その分学ぶことも多くありました。また、参加回数の異なるメンバーと同じ班になることで、新たな出会いもあり、とても楽しい雰囲気でした。

特に心に残っているのは、仲間の身上に対して班員全員でお願いしたこと。男女の隔たりもなく、ただひたすらにご守護を願っていました。最高のメンバーに巡り合え、最高の思い出となった「学修」でした。

「学生生徒修養会(高校の部)」 係員として6人が参加

今回の「学修」には、係員として岡大教会から6人が参加。カウンセラーや総務係員、またカウンセラーをサポートするアドバイザーなどとして務めた。

- アドバイザー／上田 時弘(表 田)
- カウンセラー／吉田 愛(東松浦)
- 森川佳代子(西北)
- 総務救護／吉田めぐみ(東松浦)
- 記録／奥村 元(岡 村)
- 総務用度／高場 淳平(東志免)

少年会の常時活動の大きな柱

おとまり会
こども会

昭和47年に、少年会の常時活動の柱として提唱された「教会おとまり会」。今年から新たに「教会こども会」が少年会本部から打ち出され、現在、重点項目の一つに「全隊実施」として掲げられている。「こどもおちばがえり」の参加を呼び掛けや、その後の丹精の一助として活用されている「おとまり会」と「こども会」。今回は、岡瀧分教会（常道久雄会長）と、表野分教会（蓮池弘之会長）で開催された様子をのぞいてみた。

「子供目線」のプログラム

岡瀧分教会

これまでに、「少年会岡団総会」前や「こどもおちばがえり」に参加した子供たちを対象に「教会おとまり会」を不定期で開催してきた岡瀧分教会。今回、少年会本部から配布された「教会おとまり会」と「教会こども会」を推進する冊子を手にし、「こどもおちばがえり」直前の7月21日から22日にかけて「おとまり会」を開催。25人（うち、育成会員4人）が参加した。

「気軽に参加していただけるように、遊びがメイン。その中におつとめ練習や親神様のお話などを組み込んだ」と話す常道祐毅さんと京子さん（教会長後継者夫妻）は、4人の子育ての真つ最中。「どうすれば楽しんでもらえるか」と子供目線でプログラムを考え、神殿階下に簡

易プールも設置した。

当日集まった子供たちの人数を見て、「思った以上に参加してもらえて、びっくりしている」という二人。「大変な面もあるけど、子供たちの喜ぶ姿が見られてよかった。いつか『こどもおちばがえり』に参加してもらえるように、これからも開催していきたい」と振り返る。

育つ側から育てる側へ――

表野分教会

『「教会でおつとめをする」、みんなでひのきしんする』、『互いにたすけ合う』。これができるば、後は楽しみ三昧」と話すのは、表野分教会長夫人の蓮池恵理子さん。しかし、楽しいだけではなく、一貫した思いが「おとまり会」に



夕づとめ後の「おはなし」。回を重ねるごとに、話を聞く姿勢も成長する。（表野分教会で）

込められている。毎年、「年に一度の「こどもおちばがえり」だけで終わるのはもったいない。教会になく丹精の継続を」との思いで、夏休み中に「おとまり会」を開催している表野分教会。当教会では、参加した上級生にポイントを置いている。

蓮池会長は、「毎年、継続して開催する中で、上級生が進んで小さな子供の面倒を見てくれるようになっていく。行事中はもちろん、宿泊に関する世話取りの中心的存在ともいえる」と話す。「おとまり会」の内容は「お楽しみ三昧」でも、プログラムの進行や世話取りなどを上級生に任せているのだ。

さまざまなことを任せられた上級生には、「その責任を通して新たな自覚が芽生える」という。そして、少しずつ芽生える自覚は、延いては「育つ側から育てる側育つ側」への成長につながっている。

「後継者講習会」

8月より順次開催

道の将来を担う人材の育成が強く望まれる今、特に若者の丹精は重要な課題です。「道の後継者」であることを自覚し、教会活動になくてはならない人材に育つことが求められているのです。今回の「講習会」には、岡につながる全対象者の受講を目指しています。すべては、道の将来のため！受講者への働きかけをお願いします。そして、皆さんの受講をお待ちしています。

心の向きを変えれば、
人生はもっと、
わくわくする。

好評開催中 ぜひご参加を

ようぼくの絆深め心を養う「おつとめ日」

「岡につながるお互いが、一手一つのおつとめを求める心を養うために」との思いから、布教部（吉田政彦部長）と婦人会岡支部（吉田陽子支部長）がタイアップして開催している「おつとめ日」。今年は特に、「積極的に道を求め、教会内容の充実とちび一筋の信仰姿勢を目指す大教会の諸活動に、この『おつとめ日』をさらに活用しよう」と開催に力を入れている。

6月11日に開催された今年の第1回目（佐賀地区／北佐賀分教会会場）以降、7月までに4会場で順に実施。各会場には布教部員が出向し、おつとめの前に「おつとめを勤める心構え」や「おつとめの大切さ」について説明している。

所属教会の「垣根」を越えた教友同士の絆を深め、ようぼくとしての心を養うことのできる「おつとめ日」。別表を参照の上、ぜひご参加いただきたい。

なお、所属教会から遠く離れて暮らすようぼく家庭の多い関東地域では、毎年「関東お

つとめ日」が開催されている。今年は11月19日（日）に開催予定。詳細は、岡瀧分教会（042・974・3640／常道久雄会長）まで。

開催日	開催会場	会場責任者
10月 8日（日）	伊萬里分教会	中島 道弘
14日（土）	香蘭分教会	森川まさみ
11月 3日（祝）	表野分教会	張間 道男
3日（祝）	飛鳥川分教会	芝田 真一
18日（土）	道弘分教会	奥村 孝

お近くの開催会場へご参加ください

関東地区在住のみなさん！一緒におつとめしましょう 「関東おつとめ日」開催のご案内

所属教会から離れて暮らす教友にとって「おつとめ日」は、神殿でおつとめを勤める貴重な機会。岡所属のようばくの親睦を深め、互いを勇ませ合う場ともなっています。そんな「おつとめ日」の関東会場が、今年も開催されます。一緒におつとめを勤め、交流を深めませんか？



11月19日(日)

11:30 開始

会場／岡瀧分教会

内 容／おつとめ、おはなし、懇親会

参加御供／1,000円

送 迎／西武池袋線飯能駅下車

※南口広場より送迎いたします（9時～11時）

問い合わせ／常道久雄（岡瀧分教会長）090-8686-0655

埼玉県飯能市落合319-1 / TEL 042-974-3640

婦人会「伏せ込みひのきしん」

R180年7月22～23日

担当係より

暑い中ではありましたが、汗をふきふき、皆さん勇んでつとめさせていただきました。ありがとうございました。



担当係／光武 幸代（須光）

参加者／清水ゆう子（薬院）、片野美沙子（西乃島）、相島加乃（天神免）、中島薫（松浦郷）
岡順子（北佐賀）、中村美弥（天神免）、吉田めぐみ（与那国） 順不同

オーストラリア布教隊 活動支援「オリジナルTシャツ」販売

「海外拠点設立」を目標に掲げ、教祖130年祭に向かう年祭活動以降も継続してオーストラリア布教を展開している青年会岡分会（上田耕平委員長）。継続的な活動と人材育成を目指し、海外布教への参加者を募集している。



紺色×黄文字

白色×ピンク字

水色×白文字

黒色×白文字

白色×黒文字

青年会岡分会としての心定め、そして「新たな拠点を設立する思いで取り組むように」との大会会長様の親心を受け、オーストラリアを布教地に活動を展開して5年。現地ではクイーンズランド州やニュー・サウスウェールズ州の一部に通い先もお与えいただき、現地ようぼくも一人ご守護いただいた。また来春には、オーストラリアよりT L I（天理教語学院）に入学予定者もいる。

今回も、海外布教活動に向けた支援募金として「TENRIKYO MISSIONARY」Tシャツを作製。1着2千円で販売している。色は5種類で、紺色に黄文字と水色に白文字が初登場。速乾性の高いファイバー生地を採用した。

売上金は、現地布教活動に充てられる。上田委員長は「拠点設立に向けた活動支援へのご理解とご協力をお願いいたします。併せて、参加隊員を募集しています」と呼びかける。

Information

来年10月の青年会創立100周年記念総会に向けて、お打ち出しいただいたテーマは「親孝行 夫婦仲良く 陽気ぐらし」。青年会員はもちろん、奥さんや子供さんも一緒にご参加ください。

立教180年

9月24日（日）

集合 8:00 開会 10:00

参加御供／1,000円

※子供500円

服装／青年会員はスラックス

ネクタイ、自教会はっぴ

- 【当日スケジュール】
- 8:00 集合・受付
 - 9:00 青年会長様ご到着
 - 10:00 「決起総会」開会
総会式典
 - 11:45 ねりあい
 - 12:30 全体ふりかえり
誓いのおつとめ
※青年会長様を芯に
記念撮影
 - 13:00 会食開始
 - 15:00 会食終了予定

「決起総会」案内

青年会
岡分会

Monthly Information

1	1	1	2	3	4	5	7	9	13	15	21	22	22	23	23	23	24	25	26	28	28	30	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
にをいがけ強調の月	盛華会（九州地区）	おぢば伏せ込み団参（午前中）	西北分教会四代会長五年祭	青年会全分会布教推進週間	大教会史編纂作業部会	大教会秋季霊祭	盛華会（関西地区）	鼓笛隊練習日	婦人会委員会	大教会ひのきしん（道弘）	大教会ひのきしん（相嘉）	役員会議 祭典準備ひのきしん	大教会ひのきしん（表野・飛鳥川・岡秋）	婦人会伏せ込みひのきしん	大教会月次祭 家族参拝デー	婦人会詰所ひのきしん	青年会長様ご臨席「決起総会」	おぢば伏せ込み団参（早朝）	詰所運営委員会 青年会委員会	学生担当委員会	本部月次祭 祭典後お礼づとめ	教会長路傍講演の日	全教一斉にをいがけデー



◆本部営繕ひのきしん（8月6日～8月20日）

西大阪 黒川 眞

◆教養掛（9月）

福門 村田 継明

◆第73教会長資格検定講習会修了者

（7月27日～8月19日）

西大阪 丸田 真久

◆修養科第913期修了者（7月27日付）

西北 森川 佳代子

◆別席願（7月16日～8月15日詰所受付分）

香蘭 金武 真由

香蘭 中川 涼

鶴城 桑田 信治

家族みんなそろって
おぢば伏せ込み団参へ参加しよう！

▶毎月第1日曜日に実施中◀
 次回は 9月3日（日）
 10月1日（日）
 10時 集合／ひのきしん実動

▶毎月25日の早朝も実施◀
 朝づとめ1時間前に、本部回廊
 拭きをさせていただきます。